

西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
 (2011) http://nshp.jp/



健康バンザイ

110

西脇病院の医師が健康や病気に関するさまざまな情報を提供します。

アルツハイマー型認知症について
 治療のヒント
 神経内科部長兼
 認知症疾患医療センター長
 佐藤 一彦

▼薬剤部から

花粉症は花粉によって生じるアレルギー疾患の総称で、主にくしゃみや鼻水を生じるアレルギー性鼻炎と目のかゆみや充血を生じるアレルギー性結膜炎があります。

花粉症の原因植物には、スギ(2月～4月)、ヒノキ(3月～4月)、イネ(5月～6月)、ブタクサ(8月～10月)、ヨモギ(8月～10月)などがあります。その種類や花粉の飛散時期はさまざま、ほぼ一年中花粉症の原因となる花粉が飛散していることとなります。しかし、花粉症の人がすべての花粉原因植物の花粉に対してアレルギー反応を起こすというわけではないので、個人個人で症状の出る時期は異なります。

緩和を目的とする対症療法とアレルギー反応の根本的な原因の改善を目的とする根治療法があります。対症療法には内服薬による全身療法、点眼薬、点鼻薬による局所療法、またレーザーなどによる手術療法があり、根治療法には抗原特異的免疫療法があります。レーザー治療は、レーザー照射により鼻のアレルギーを起こす場を減らし、鼻粘膜のアレルギー反応を鈍くしようというものです。また抗原特異的免疫療法は減感作療法とも呼ばれ、スギ花粉の抽出液を注射や舌下で投与し、身体に慣らしていくことで症状の軽減を図るものです。

十分な根拠があるとはいえないものもあるようです。特にスギ花粉の成分を含んだ食品は、花粉症の症状悪化や重篤なアレルギー症状(血圧低下、呼吸困難、意識障害等)を起こす可能性があります。安全とは断言できません。治療目的でこれらの食品を摂取することは避けたい方がよいでしょう。予防としては、①花粉の飛散が多い日は窓を閉める②マスクやメガネをする③帰宅時に衣服や髪をよく払う④帰宅後、洗顔、うがいをして、鼻をかむ⑤花粉の付着しやすい衣類を避ける などがあります。

現在、病因の中心となるアミロイドβ蛋白やタウ蛋白の生成を阻止して神経細胞の変性脱落を防止するお薬はありません。しかし、脳機能を少し上げるアセチルコリンを増やす薬が3種類、記憶を留める受容体の雑音を軽減する薬が1種類の計4剤が使用できます。適切に使用すれば進行を遅らせてQOL(生活の質)を良くすることができます。前にも述べたように、『認知症』とは認知機能が低下し、日常生活に支障を来して『生活障害』が生じた状態を言います。そこで多く問題になるのがBPSD(認知症の行動心理症状…いわゆる異常行動)です。『生活障害』を少なく、BPSDを予防し、機嫌よく生活を送れるようにするのが治療なのです。その2本柱がお薬と「認知症患者様のお気持ち」を察した住み良い環境です。低下した機能を理解したうえで、生活に失敗されないようサポートして自信と笑顔に満ちた暮らしを作ることが大切です。また、知的活動と運動は廃用変化阻止と機能維持をする上で重要です。ただ、知的活動についても、正常の方が行う認知予防とは区別が必要で、できないことを認知症の方に強いると、できなくて悲しい気持ちや先行し、時に怒りの感情をよぶことになりかねません。お好きなことを見つけてだし、楽しく続けられる環境を作っていきましょう。加えて、適度な運動と生活習慣病を予防すること、規則的で健康的な食事(地中海式の多量の野菜・豆類・果物、不飽和脂肪酸を含むオリーブ油、多めの魚、乳製品・牛肉・鶏肉は少量、ワイン等)を摂ることは、認知症を発症された方のみならず発症の予防にも良いと言われています。

▼西脇病院「健康セミナー」

毎月1回、西脇病院医師による「健康セミナー」を開催しています。

- ▼とき 2月16日(月) 午後3時～4時
- ▼ところ 病院講堂(2階)
- ▼講師 産婦人科医 野村和久
- ▼演題 不正出血
- ▼問合せ 病院総務課 (病院内線366)

▼糖尿病教室

「すぐわかるよ血糖値・自己血糖測定」

普段使用されている血糖測定器のメンテナンスを行ない

ますので、自己血糖測定器をお持ちの方はご持参ください。

- ▼とき 2月27日(金) 午後2時～3時
- ▼ところ 病院講堂(2階)
- ▼持ち物 血糖測定器、糖尿病手帳
- ▼問合せ 内科 (病院内線535)

▼ノロウイルス感染症

ノロウイルスは冬季を中心に幅広い年齢層に多発します。体内に取り込まれてから24～48時間で発症し、主な症状は、下痢、おうと、腹痛、発熱などです。通常3日以内に回復しますが、感染後は一週間程度糞便中にウイルスが排泄さ

れます。ノロウイルス感染症は、十分な加熱調理、汚染した手指や汚染食品などが原因で食中毒として発生します。極めて少ないウイルスで感染が起こり、感染力が非常に強いのが特徴です。また、他の微生物などと比べると熱に強く、85～90度で1分30秒の加熱が必要です。感染防止には手指の消毒が重要で、石けんとアルコール製剤の併用による手指衛生が必要です。ノロウイルス感染症者の便、おうと物の処理は、マスクを着用しペーパータオル等で拭き取り、汚染物はすぐにビニール袋に入れて廃棄

▼エントランスホールギャラリー

市枝奈々子さんによる油絵の展示です。

- ▼とき 2月2日(月)～27日(金)
- ▼ところ 西脇病院エントランスホール
- ▼問合せ 経営管理課 (病院内線363)

■外来診療担当医師変更のお知らせ

内科の外来診療担当医師が次のとおり変更となっています。

診療科	月	火	水	木	金
総合内科(初診)	木村 祥子 中川 嘉宏	来住 稔 柏木 明香	辰岡 浩樹 柏木 貴雄	樋口 泰雄 中川 嘉宏	鈴木 琢真 有本 来住 えり (糖尿)
再診1			福永 秀行	柏木 明香	
再診2	小出 亮 (消化器)	岩井 正秀 (肝臓)	木村 祥子 (消化器)	岩井 正秀 (腎臓)	
再診3	有本 えり		鈴木 琢真	柏木 貴雄	
専門外来	白井 敦 (腎臓・午後診) (予約・紹介患者様のみ)	木戸 良明 (糖尿) (予約・紹介患者様のみ)	来住 稔 (糖尿併合症) (予約患者様のみ)		中井健太郎 (腎臓) (予約・紹介患者様のみ)

西脇小児医療を守る会コラム 79

ママにだってできるんだよ!!



命をつなぐ 救急ナイトスクール

昨年12月マナビータで、第15回救急ナイトスクールが開催されました。

富原均先生の講演のあと、双葉小学校の子どもたちによるAEDを使った救急救命の劇がありました。



▲昨年12月開催の救急ナイトスクール

同小学校では、幼稚園から毎年親子で一緒に心肺蘇生講習を受けているので、学び続けることの重要性を一生懸命に伝えていました。

私たちも、いざというときに冷静に行動できるよう、学び続けなければいけないとあらためて思いました。一つでも多くの命をつなぐために、例年開催されている救急ナイトスクールに1人でも多くの方に参加してほしいと思います。

◆問合せ 西脇小児医療を守る会
 ☎090-8538-1337 石井
<http://www.kodomonomirai.com>
info@kodomonomirai.com

西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日(年末年始を除く) 午前9時～午後5時
- ◆問合せ ☎23-5380

○病状やけがの様子など電話であらかじめご連絡ください。電話が混みあいご迷惑をおかけすることがありますが、しばらくしてからおかけ直してください。

○必ず健康保険証を持参ください。

2月の出務予定医師	
2月 1日(日)	大隅 昭幸 先生
2月 8日(日)	伊藤 通男 先生
2月15日(日)	上田 正生 先生
2月22日(日)	三宅 岳 先生

※西脇市多可郡医師会の医師が交代で、入院を必要としない内科系の軽症患者の診察を行います。